

牛群検定ビッグデータ（その34） ～品種における脂肪酸組成の違いについて～

牛群検定のビッグデータからわかるいろいろなことを本コーナーで紹介していきます。

最近、牛群検定において乳成分分析が可能になった脂肪酸組成*を品種（日本で繁養されている主な品種であるホルスタイン種（実線）および、ジャージー種（点線））で比較しました。乳量、乳脂量の差については前回ご紹介したとおりですが、同様に乳脂量の成分である脂肪酸組成にも違いが見られ、プレフォーム脂肪酸以外はホルスタイン種が低くなっています。

また、夏場にかけて、デノボ脂肪酸（DnM）やミックス脂肪酸（MiM）の量が減少し、プレフォーム脂肪酸（PrF）の脂肪中の割合が増加する傾向があります。

※脂肪酸組成の測定は、粗飼料摂取や体脂肪動員の指標となる数値で、自身の乳腺で合成されたデノボ脂肪酸（Dn）、飼料や体脂肪動員に由来するプレフォーム脂肪酸（Pr）、その中間であるミックス脂肪酸（Mi）の3種類からなり、それぞれ2つの尺度で表示しています。デノボ脂肪酸は粗飼料の利用性やルーメンの健康状態を、プレフォーム脂肪酸は濃厚飼料の利用性や体脂肪動員の指標として利用されています。

%MILK…生乳100gあたりの脂肪酸g（略称の最後をMで表示）

%FA……総脂肪酸100gあたりの脂肪酸g（略称の最後をFで表示）

※平均データ件数 ホル 約15,900件/月 ジャージー約330件/月

